

平成 30 年 7 月 30 日 (月)

第五回 JCHO 秋田病院地域協議会議事録

(日時) 平成 30 年 7 月 11 日 (月) 18:30~19:30

(場所) JCHO 秋田病院 健康管理センター 大ホール

(出席者) 永井委員 工藤委員 (齊藤委員代理) 佐々木 (文) 委員 船山委員
山須田委員 楊委員 石川委員 田村委員 (伊藤委員代理) 太田原委員
小笠原委員 森委員 薩摩委員 小林委員 大友委員
石岡委員 金子委員 大塚委員 高田委員 佐々木 (葉) 委員
小野委員 船越委員 橋本委員 高松委員
(欠席者) 高橋委員 芳賀委員

- (議題)
1. 平成 29 年度 JCHO 秋田病院事業概況及び平成 30 年度計画について
 2. 平成 29 年度からのトピックス・健康講座及び病棟アンケート等・分科会 (平成 30 年 7 月 2 日開催) 報告について
 3. 秋田病院に対するニーズについて

司会 安藤

ただいまより、第五回独立行政法人地域医療機能推進機構秋田病院地域協議会を開催いたします。この地域協議会は独立行政法人地域医療機能推進機構法第二十条で設置することが義務付けられておりました、当院では、本日の協議会の他、分科会を年2回、計3回の開催となっております。この目的は、施設の運営にあたり、広く利用者その他の関係者の意見をお聴きし、当地域の実情に応じた運営に努めるためでございます。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

ここで石岡病院長より一言ご挨拶がございます。

JCHO 秋田病院 病院長挨拶

石岡 隆

みなさんこんばんは。今日はお忙しい中、お仕事の後のお疲れのところ、JCHO 秋田病院の地域協議会においでくださいまして本当にありがとうございます。日頃皆様にはいろいろとお世話になっておりますことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。JCHO に移行して4年経過しまして、お陰様で昨年度も何とかぎりぎり黒字で終えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と感謝しております。今年度、JCHO 発足の中期計画の最終年度にあたりまして、今年度は診療報酬と介護報酬の改定があり、一層厳しい状況になってきておりますが、その中で目標を達成することを求められております。今日は、当院についていろいろと忌憚のないご意見、ご要望を賜りまして、今後の運営に活かして参りたいと思っておりますので、どうぞご思弁のほど、どうぞよろしくお願ひします。

司会

議事に入ります前に、今年度は任期更新がございました。みなさまこれから2年間の任期よろしくお願ひ申し上げます。本日の出席状況ですが、能代山本医師会病院長高橋委員、藤山自治会芳賀委員が所要のため欠席となっております。当院大塚委員については診療が終わり次第出席となります。尚、本日能代市長齊藤委員の代理として能代市健康づくり課工藤隆夫課長、消防本部消防長伊藤委員の代理として、田村要救急課長にご出席いただいております。それでは皆様簡単に自己紹介をお願いします。山須田委員から楊委員の右回りの順番でお願いします。

各々、自己紹介

委員長選出

司会

それでは、議事に入ります前に規定第5条に則り、委員長の選出に入りたいと思ひます。如何致しましょうか。(楊委員—能代山本郡医師会会長の山須田委員にお願ひしたら如何でしょうか) 山須田委員とのご推薦がございましたが如何致しましょうか。(異議なし)。異議なしということで山須田委員よろしくお願ひ申し上げます。

副委員長指名

司会

副委員長は委員長が指名することとなっておりますので、山須田委員長ご指名をお願いいたします。(山須田委員長—楊委員をお願いいたします。)

楊委員よろしくお願ひ申し上げます。それでは、規定第6条により議長は委員長が務めとなっておりますので、山須田委員議長席の方へよろしくお願ひ申し上げます。

議長挨拶・資格審査報告・議事録署名人指名

山須田議長

ただいま委員長を務める事となりました山須田と申します。この協議会の趣旨に則り、スピーディーな進行を心がけたいと思っておりますので、委員の皆様にはひとつよろしくお願ひ致します。それでは、さっそくですが事務局の本協議会の資格審査報告をお願ひしたいと思っております。

三熊委員

本協議会は、委員25名中23名の出席により協議会は成立していることをご報告致します。

山須田議長

ありがとうございました。それでは、規定により議事録を作成し保存することとなっておりますので、議事録署名人を薩摩委員と小笠原委員にお願ひいたしたいのですが如何でしょうか。(異議なし)それでは、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは議事に入ります。本日予定の議案は3つとなっております。皆様の忌憚のないご意見をいただければと思っております。

山須田議長

それでは議題1、平成29年度秋田病院概況及び平成30年度計画について、石岡委員からお願ひ致します。

石岡委員

- ・平成29年度JCHO秋田病院事業概況
- ・平成30年度計画について

(別添資料P4～8)

山須田議長

石岡委員、どうもありがとうございました。それでは皆様、今のご説明に何かご意見やご質問がございましたら、お願ひしたいと思っております。何かございませんでしょうか。特に何もありませんでしたら、一番最後に少し時間を取らせていただきますので、その時にお願ひしたいと思っております。

続きまして、議案の2つ目として、平成29年度からのトピックス、健康講座及び病棟アンケート等、分科会報告について、各担当の方からご説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

船越委員

- ・平成29年度からのトピックス (別添資料 P9～18)

高松委員

- ・平成29年度6月～30年度講座・研修会 (別添資料 P19、P34～36)

佐々木(葉)委員

- ・病棟毎アンケート (別添資料 P20～21)

船越委員

- ・「やまびこ」意見箱 (別添資料 P21～22)
- ・分科会報告 (別添資料 P23～33)

山須田議長

ご説明ありがとうございました。平成29年度に新聞に掲載されたトピックスや、活発に行われている健康講座や研修会、そして病棟アンケート、分科会など、トピックスについてとても分かりやすく説明頂くことができました。それでは、委員の皆様には何かご質問、ご意見等ありましたらお願いしたいと思います。何かございませんか。特にないようでございますので、議案3に移らせていただきたいと思います。

今までの内容も含め、秋田病院に対する様々なニーズについてのご意見等、また、議案1、2でありましたところも何か思い出してのご意見等でも構いませんが、委員の皆様の方から何かご意見ありましたらお願い致します。何かございませんか。

船山委員

先程、地域包括支援センターについて、秋田病院の方からお話があり、今年の4月からスタートしたわけですが、市では私たちの方でも、いわゆる、町内で行う「高齢者の見守りネットワーク会議」というものを立ち上げました。二ツ井と合併し、平成18年から市役所の地域包括支援センターの方で立ち上げて頂き、初めは万町、上町のみの会でしたが、現在は大町が入りまして、この3町内の6名の自治会長と民生委員を含めた「見守りネットワーク会議」となっております。今までは、会場や会議の日程、案内等をすべて市の包括で行っており、以前は毎月行っていましたが、今から5、6年前から、毎月は厳しいと判断され、奇数月に行っております。そして、今年5月に行いましたが、万町、上町、大町すべて中央地区で、JCHOさん

の担当となると思いますが、その時に説明に参りまして、今まで行政ではこのようにやって頂いていたが、「今度から私たちは包括の業務から離れたためできない。アドバイスはできるが、会場をとることや、会場代等、運営に関しては、その会を組織している方々でやってください」という形になりました。特別に自治会でも「見守りネットワーク会議」をやっているが、誰が責任を取る、誰に役割があるということはなく、行政で今までやって頂いていた。止めようかという意見もありましたが、もう 10 数年も続けており、高齢者の情報も多く入ってきておりますので、これは我々だけの問題ではなく、やはり包括支援センターでもひとつの参考になるのではないかと、という理由で続けてきました。ですので、そういったシステムであれば、今後も続けようと、年 6 回、6 自治会ですので、自治会当番で、会場の確保や、手続きはそこで行うという結論に至りました。今月この後開催しますが、アドバイスはして頂けませんが、できれば案内を出して会場に集めるという、案内だけでもお願いできないものかと思い、今日参りました。よろしくお願いいたします。

石岡委員

どうもありがとうございます。実は、包括支援センターも引き受けたことは良いのですが、業務内容がどこからどこまでなのか、まだ十分に把握できていないということがひとつあります。もうひとつ、仕事が多く、スタッフが対応しきれていないという点があるため、もう少し慣れ、市役所の担当の方とすり合わせた後の対応となると思います。大変申し訳ありません。もう少しお待ちください。

山須田議長

私からも補足があります。医師会病院でも、南地域の包括支援センターを受け持っておりますが、石岡委員がおっしゃったとおり 4 月から引き受けてはおりますが、まだ全体の大きな流れが見えておらず、スタッフもまだ不慣れであり、なかなか従来から行っている市役所での動きができていないことは事実だと思います。また、このことに関しては医師会病院でも同じですが、また能代市さんと様々教えていただきながら、できる部分はしていきたいと思っております。私たちも同じ立場であるため、もう少々お待ちください。

工藤健康づくり課長

私もある程度、そういった情報は耳にしておりました。確かに煩雑で大変だという話は聞いております。なので、今の船山委員からもご要望もありますけれど、その場合、少し聞いてみてはいるのですが、今の状況だとなかなか難しく、今後どのようにしようか、ということも少し話しております。今後、包括支援センターさんと担当の者と、今回の会議の議題については、今後受け持っていくものと思われまますので、どうぞよろしくお願いいたします。

山須田議長

ありがとうございました。他に委員の皆様からご意見等ありましたらお願いしたいのですが、何かございませんか。

永井委員

少し教えていただきたいことがあるのですが、巡回健診、健診車の事ですけれども、これの実施状況をお聞かせ願いたいです。

石岡委員

健康管理センターの実施状況にも示しましたが、健診車2台で秋田県全域、主に協会けんぽを通じて申し込んで頂いて廻っております。1台のバスで胃の透視と胸の写真で1日に平均40名前後行っており、胃の透視を行わないと1台約60名から70名程度行う事もありますので、1年間で12,661人となっております。特に冬の期間は交通事情が悪くなりますので、どうしても稼働率が悪くなり、11月まではほとんどフル活動しています。もう1つ困っていることが、同乗する胸部の打聴診を行う医師が大変ですので、その点でどうしてもフル活動できない部分もあります。もう少し増やせるとは思っています。目標としては23,000から24,000くらいまで増やせればと思っています。院内の方は、透視、マンモグラフィーすべてこのスペースでできます。胃カメラのみ場所がない為、1階で行っており、1日14人くらい行っております。ここでも一般健診と呼ばれる生活習慣病を中心に40名＋定期健診を合わせて、50名前後行っている状況であります。ゆったり健診というものは、一般健診が10:30頃に終わりますので、その後からスタートします。それが大体5人から10人できる状況ですので、今後まだまだ増やす余地はあるかと思えます。

山須田議長

ありがとうございます。この巡回健診については、専ら協会けんぽさんの事業所を

石岡委員

と、健康保険組合までです。ある企業は一般健診と一緒に1日午前午後合わせて240人くらい行っているところもあります。

山須田議長

ありがとうございます。他に議員の皆さんから何か・・・

船山委員

JCHOさんの老人保健施設、先程この資料にありましたけれども、定員が40名になっているのですが、23.8名となっております、40名は入っていませんよね。サンビューさんには私の知り

合いも入っており、非常に評判はよろしいです。それで、私の社協でも松籟荘の運営をしておりますが、松籟荘は定員が70名であり、今満杯になっているのですが、ただ、問題として介護職員が募集してもなかなか来てくれないということがありまして、サンビューさんはそういったことはないと思いますが、この40名の募集に対し、23.8名しか入っていないということは、何か意識的に行っているのでしょうか、それとも介護者の方の採用がなかなか難しいのでしょうか。

石岡委員

23.8名というのは通所リハビリの人数なのですが、少し波がありまして先ほども話した通り、土曜日や祝日だとスタッフの数が足りないので、特にリハビリのスタッフが足りていません。ピークの時だと、30名近くまでいっています。もうひとつ、通所の場合は、送迎のバスの運転がありまして、今一番遠いのが山谷地区、二ツ井は荷上場まで迎えに行っているのですが、一旦4、5人乗せて戻ってくると約1時間かかってしまいます。二ツ井まで20分くらいで着くのですが、そこで人を乗せたりしていると、どうしても時間がかかってしまい、その送迎の時間に非常に戸惑っております。当施設では、運転士と介護職員1人を乗せて送迎しているため、配置の関係で30名近くが限度で、それ以上は現実的に見て少し厳しいです。なので、市内の方等、比較的短い時間で来れる方はもう少し増やせる余地はあるかと思いますが、遠いところの申込の方については、対応できていない、車とスタッフを増やさなければならないという理由から、通所リハビリがなかなか伸びていない現状だと思います。入所については、まだまだ余裕がありますが、当施設では感染症、耐性菌を持っている方が他施設で断られ、行き場がなく当施設に来られる方が多くいらっしゃいます。そうすると、その方たちを同じ部屋にしたり、あるいは個室に入ってもらえなくなるとなかなか上手くいかないということと、もうひとつ、男女の比率で、特に男性部屋がなかなか確保しにくいです。全体的に空床があったとしても、その時にたまたま男性部屋がない、個室が確保できない、また、介護の場合は個室に入れなければならないが生活保護や収入の関係で大部屋にしか入れない等、様々な問題があり、なかなか満床にしにくいということはあるかと思われまます。実際、亡くなられた方が最近多くなり、昨年1年間で30人、当施設で看取りを行ったのですが、前の年の倍以上になっていまして、そのこともなかなか昨年増えなかった原因であると思います。

山須田議長

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。医療関係の立場の方から何かございませんか。

少し時間は残していますが、非常に良く、分かりやすい話を頂いて、活発に活動されているということを伺いました。これで今日の議会を終わらせて頂きたいと思います。この後、来年1月に2回目の分科会が開催されるということになっています。引き続き地域の要望を拾いながら、その実現をしていきたいと思ひます。それでは、第5回JCHO秋田病院地域協議会を

これで終わりたいと思います。どうもお疲れ様でした。

司会 安藤


山須田先生ありがとうございました。皆様、本日はお忙しい中ご出席頂きありがとうございました。

19時30分終了
(文責 三熊・小野)

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成30年7月30日

議長 殿

議事録署名人 薩摩 博 印 

議事録署名人 小笠原 達志 印 